

第8期
札幌市廃棄物減量等推進審議会
第1回2Rグループ会議
参考資料

平成28年9月14日

札幌市環境局

第1回 2Rグループ会議 参考資料

1	これまでの札幌市の取組	1
2	他都市の取組事例	11

1 これまでの札幌市の取組

(1) レジ袋の削減

1) 概要

札幌市では、レジ袋を削減し、マイバッグ等の持参を促進するため、「レジ袋削減に向けた取組みに関する協定」を事業者、市民団体と結び、三者協働でレジ袋の削減を進めている。

2) 各主体の役割

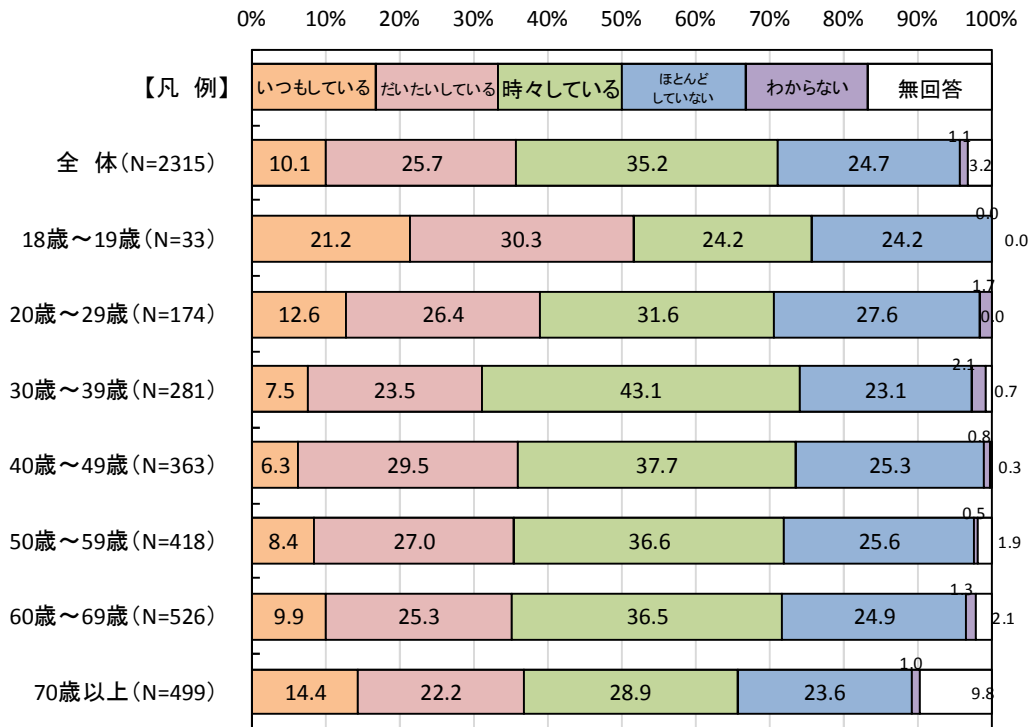
主体	役割
事業者	協定でレジ袋削減目標等を設定したうえで、マイバッグ等の持参促進及びレジ袋の削減に積極的に取り組む。
市民団体	レジ袋の削減を市民に呼びかけるとともに、協定に参加する事業者を積極的に支援する。
札幌市	協定に参加する事業者・市民団体と協働してレジ袋削減を進めることとし、市民や他の事業者の理解・協力が得られるよう積極的に普及啓発を行う。さらに、この協定の取組を通して、循環型社会の実現と地球環境の保全を図る取組をより一層推進する。

3) 取組効果

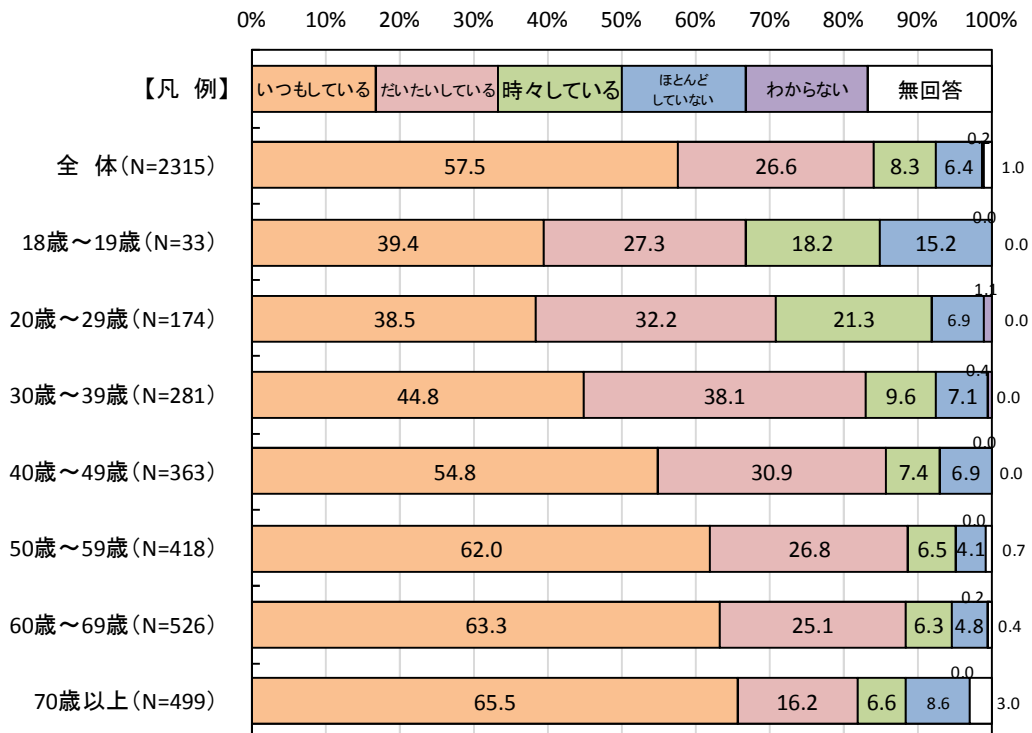
区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
協定締結事業者数(団体)	13	13	13	13	12
店舗数(店舗)	174	176	179	177	176
協定締結市民団体数(団体)	7	7	7	7	7
マイバッグ等持参率(%)	86	86	85	86	86
レジ袋削減量(万枚)	11,266	10,975	10,603	11,417	11,263
CO ₂ 削減量(トン)	5,245	5,109	4,936	5,315	5,243

4) 市民意識調査結果

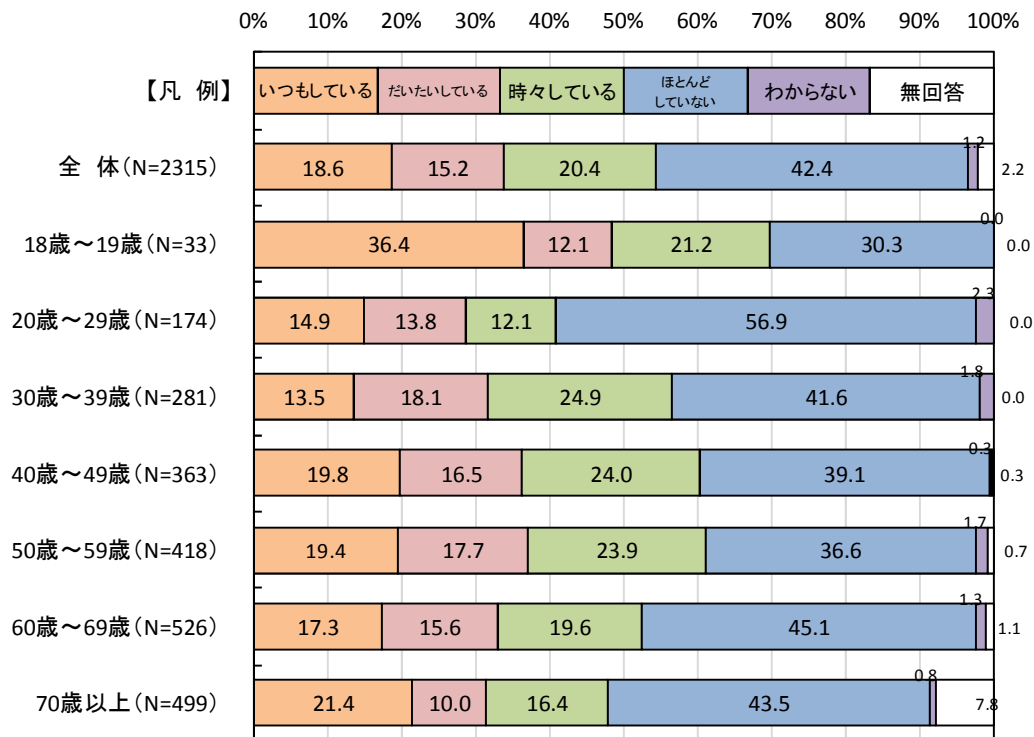
買い物時に包装を断るなど、ごみとなるものは家庭に持ち込まない



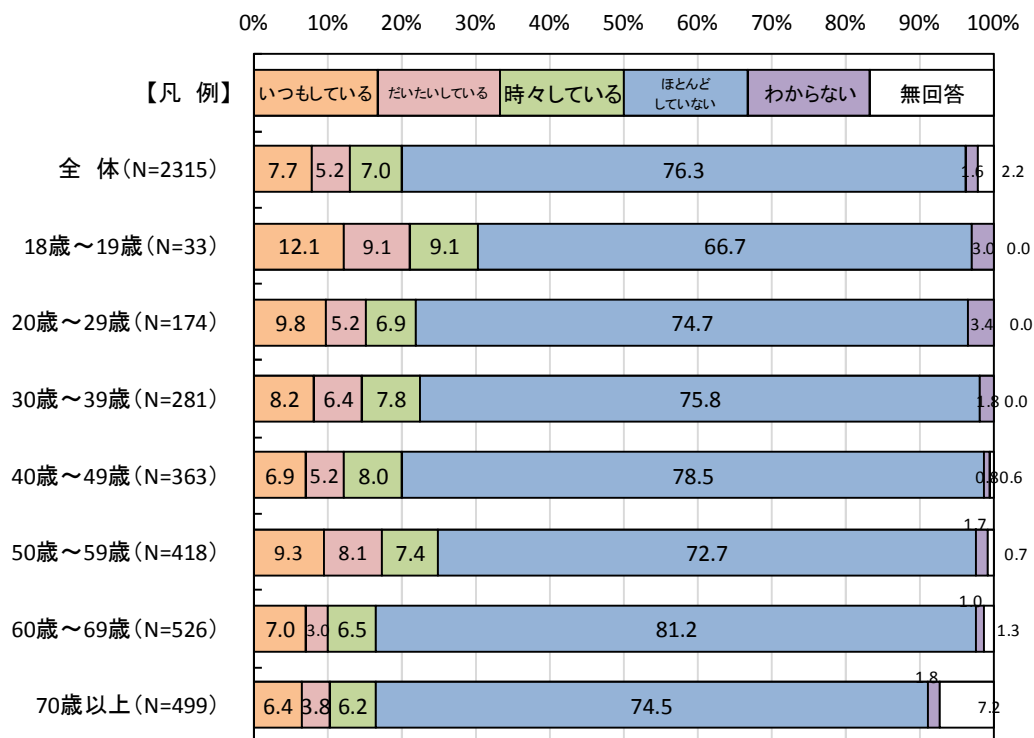
買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋は使用しない



マイボトルを携帯している



マイ箸を携帯している



(2) 出前講座

1) 概要

市民への情報提供と対話の一環として、市職員が地域に出向き、市の施策や事業について分かりやすく説明を行う「出前講座」を実施している。市民に市政への理解を深めてもらうとともに、市職員が直接生の声を聞くことにより、寄せられた意見や提言などを事務や事業の見直しに役立てている。

2) テーマ一覧

講座名	講座の概要
さっぽろのごみ処理事情と「スリムシティさっぽろ計画」	身近な環境問題であるごみの減量・リサイクルを進めるために策定した「スリムシティさっぽろ計画」の概要と、リサイクルに関する法制度や考え方などについて
家庭ごみの分け方・出し方・減らし方 ～クリーンミーティング～	札幌市のごみ事情を説明するとともに、ごみ減量・リサイクルについての諸施策を紹介し、ごみの減量に向けた生活行動について理解を深める。
事業ごみの分け方・出し方・減らし方	家庭から出るごみとは異なる処理が必要な事業所から排出されるごみの正しい処理の方法や、分別、リサイクルについて
札幌市のごみ処理施設	清掃工場やごみ埋立地などのしくみ、環境対策や処理コストなどの現状を説明し、これらの施設に対する理解やごみ減量の意識を高める。
わたしたちの暮らしとリサイクル	札幌市のごみ収集・処理の歴史とごみの衛生的処理からごみのリサイクルへの変遷など、暮らしの変化とごみを取り巻く社会環境の変化について、現在・将来に向けた課題などを理解する。

(3) ごみ減量キャンペーン

1) 概要

食品ロスの削減に重点を置き、冷蔵庫の中を定期的にチェックする習慣をつけることにより、食品の使いきり、食べきりを意識してもらうよう呼び掛けるキャンペーンを実施している。

2) 取組内容(28年度)

- ・ 整理収納アドバイザー監修による啓発冊子の配布
- ・ 普及啓発イベントや冷蔵庫整理セミナーの実施
- ・ Facebook ページの開設
- ・ 交通広告等を活用した広報



日曜日は
冷蔵庫を
お片づけ。

ごみ減量キャンペーンタイトル

3) 過去のキャンペーン

- ・ 食品ロス削減スローガン募集
- ・ “札幌発”生ごみ水切り器の配布
- ・ 生ごみダイエットレシピ募集
- ・ 生ごみ減量啓発 DVD「今すぐできる！生ごみダイエット」の配布
- ・ 札幌市ごみ減量アイデアコンテストの実施

(4) リサイクルプラザ

1) 概要

札幌市リサイクルプラザ（通称「リサイクルプラザ宮の沢」）は、平成 12 年 8 月に地下鉄宮の沢駅に直結する生涯学習総合センターに併設して開設し、リサイクル品の展示の他、講座・教室の開催、ホームページや情報誌の発行等による情報提供を行っている。

2) 取組内容

項目	内容
家具・自転車などの展示提供	市民が市の大型ごみ収集に「リサイクル希望」として出された家具・自転車などを発寒工房で修理・修繕した後に展示し、抽選にて販売
リフォーム教室・ふれあい相談ごみ減量活動	暮らしに役立つ様々なリフォーム教室の開催や、ごみ減量に関する相談コーナーを開設
ごみ減量情報展示コーナー	「ゆずります・ゆずってください情報コーナー」や、図書・ビデオ閲覧・貸し出し
おもちゃの病院	壊れたおもちゃを修理してできるだけ長く使って、ごみを出さないようにするため、おもちゃの簡単な修理、相談をしている。
リユースコーナー	家庭からの日用の不用品を有効活用するために、市民からの提供を受け付け。コーナーにて欲しいものを見つけた時は、カウンターに申し込みの上、持ち帰ることが可能。

3) 来場者数実績

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
リサイクルプラザ来場者数(人)	38,949	39,976	45,599	52,652	54,950

(5) リユースプラザ

1) 概要

札幌市リユースプラザは、平成 21 年 4 月に厚別清掃工場跡地に開設され、リユース品の展示販売、ごみ減量・リサイクルに関する各種教室・講座の開催、市民団体と協働で開催するエコイベント等を通じた普及啓発を行っている。

2) 取組内容

項目	内容
リユース展示場	市民が不要になった木製家具や遊具などを市が回収・簡易修理し、展示即売している。
リユース自転車	市民が市の大型ごみ収集に「リサイクル希望」として出された自転車を発寒工房で修理・修繕した後に展示し、抽選にて販売している。
イベント・講座	生ごみ堆肥化講座、廃材木工教室、廃材工芸教室などを行っている。
やまびこコーナー	ごみダイエットを目指す取組の一環として、家具・電化製品・生活用品・玩具類・スポーツ用品・OA 機器・楽器・カメラなどを対象に、不用品の情報交換の場を提供している。

3) 来場者数実績

区分	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
リユースプラザ来場者数 (人)	30,662	28,193	28,916	33,660	37,134

(6) 古着拠点回収

1) 概要

従来燃やせるごみとして収集していた古着を、平成 26 年 10 月から地区リサイクルセンター、平成 27 年 6 月から市内一部のクリーニング店、平成 27 年 8 月から各清掃事務所等で無料回収し、衣類として再利用している。

2) 対象品目

衣類全般で洗濯済みのもの（タンスにしまえる状態のもの）

(例：ワイシャツ、背広、セーター、ズボン、スカート、子供服、ブラウス、コート、ジャンパー、革製の衣類、着物、ネクタイなど)

札幌市からのお知らせ
こちらのステッカーやのぼりのある
札幌クリーニング協同組合加盟の
クリーニング店などで
**古着の無料回収を
しています**

集めた古着は、主に衣類として再利用されます。

ごみ減量・資源化の推進に、皆さまのご協力を
お願いします!

古着の出し方について
※洗濯全般で洗濯済みのもの
(タンスにしまえる状態のもの)

回収できるもの
ワイシャツ、背広、セーター、ズボン、
スカート、子供服、ブラウス、コート、
ジャンパー、革製の衣類、着物、
ネクタイ、スキーウェアなど
※必ず「アップサイクル」の表示を貼って下さい
※中身の汚れた容器等は入れてお出し下さい

回収できないもの
ビニール製品、靴下、下着類、
寝具類、汚れたもの、
変形しているもの、
ペットなどに遊ばせて置いたもの、
破損がひどいものなど

お問い合わせ先 **札幌市コールセンター** (年中無休) 8:00~21:00
☎ **011-222-4894** www.city.sapporo.jp [札幌市公式ホームページ](http://www.city.sapporo.jp)

市役所エレベーター内の広告を募集しています。
詳しくは札幌市広告事務局のホームページをご覧ください。 ☎011-211-2052

(7) 事業系廃棄物減量計画書・処理実績報告書の提出

1) 概要

札幌市では、事業用大規模建築物（延べ面積が 1,000m² 以上）の所有者に対して、「札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例」に基づき、毎年、廃棄物の減量及び適正な処理に関する減量計画書と実績報告書を提出するよう定めている。

2) 提出実績

区分	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
提出事業所数（カ所）	4,245	4,251	4,329	4,325	4,295

(8) 2510（ニコッと）スマイル宴

1) 概要

札幌市では各職場の宴会などで、料理を楽しむ時間として、開始から 25 分間と終了前 10 分間は自分の席に着いて、食べ残しを減らす活動「2510（ニコッと）スマイル^{うたげ}宴」に取り組んでいる。

2) 取組内容

- ・宴会や会食の開始後 25 分間と終了前 10 分間は料理を楽しむ
- ・料理がたくさん残っているテーブルから、少ないテーブルに料理を取り分ける
- ・幹事は、予約の際に参加者の性別や年齢、好き嫌いなどを伝え、適量の注文を心がける
- ・宴会中は、「食べ残しのないように！」と声をかける



(9) リユース食器の貸し出し

1) 概要

地域のお祭りや学校祭などのイベントにおけるリユース食器の貸し出しを行っている。なお、業務用食器洗浄機を搭載した移動食器洗浄車「アラエール号」の貸し出し事業は、平成 27 年度で終了した。

2) 貸出方法等

区分	役割
申込み	イベント開催日 1 ヶ月前までに電話申込み
貸出対象	札幌市内において、飲食を伴うイベント等を主催する地域団体・学校・NPO等
申込み・貸出返却場所	リサイクルプラザ宮の沢

3) 貸出実績

区分	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
アラエール号貸出実績 (回) ※リユース食器のみの貸出を含む	21	19	19	13	10

2 他都市の2R取組事例

(1) ごみ減量や環境配慮行動を促すための取組

対象	家庭ごみ	種類	ごみ全般
内容	「燃やせるごみ減らそう生活」トライやる		
説明	市民に燃やせるごみの減量に取り組んでいただき、その効果を実感していただくことで2Rの大切さを考えてもらうため、減量への取組とごみ袋の重量の測定・記録を行う事業の実施。		
実施自治体	神戸市		

対象	家庭ごみ	種類	ごみ全般
内容	コンビニでの啓発チラシの配布		
説明	神戸市内コンビニ（ファミリーマート、セブンイレブン）において、ごみの減量・資源化の啓発チラシの配布及び啓発POP（神戸市の家庭系ごみ袋の売場）の貼付を実施。（昼間不在等で地域説明会への参加ができない単身者や若年層などに対する啓発）		
実施自治体	神戸市		

対象	家庭ごみ	種類	ごみ全般
内容	ごみ減量・リサイクル実行委員会		
説明	スーパーマーケット、デパート等の事業者、市民団体、行政の26団体で構成された「広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会」において、ごみ減らそうデーの実施、レジ袋無料配布の中止、小分け、バラ売り等の促進、店頭回収を実施。		
実施自治体	広島市		

対象	家庭ごみ	種類	レジ袋
内容	包装削減キャンペーン		
説明	市民団体、事業者からなる実行委員会を立ち上げ、ポスター掲出、店頭啓発活動などのキャンペーンを展開。参加事業者から商品券等の協賛を受け、クイズも実施。		
実施自治体	仙台市		

対 象	家庭ごみ	種 類	ごみ全般
内 容	資源を大切に チャレンジふくしま ごみダイエット！		
説 明	ごみを減らす工夫をしながら、取組期間中に出すごみの重さを測定。参加家庭の中から、抽選で Quo カードを、また、希望者には、ごみの重さを量るためのフック式のはかりを提供。		
実施自治体	福島県		

対 象	家庭ごみ、事業ごみ	種 類	ごみ全般
内 容	とやまエコ活動宣言事業		
説 明	県民、事業者（卸売業、小売業、宿泊業、飲食店）が今後取り組むエコ活動を宣言し、集まった宣言を紹介することで県民・事業者の更なるエコ活動への意識醸成を図ることを目的に、「とやまエコ活動宣言事業」を実施。県民は、応募者の中から、毎月5名の方に、抽選で環境関連グッズをプレゼント、事業者は専用サイトや広報物により、エコ活動宣言事業者であることや取組内容を紹介。		
実施自治体	富山県		

(2) 継続的な生ごみ減量・食品ロス対策

対象	家庭ごみ	種類	生ごみ
内容	生ごみ減量キャンペーン		
説明	<p>「使いきる」「食べきる」「水気をきる」の3つのきる</p> <p>①全ての集積所管理団体へのキャンペーンポスター送付 屋外での掲示を考慮して耐水紙で作成、集積所の掲出を管理団体へ依頼。</p> <p>②エコレシピ集作成 市民から食材の使い切りやリメイク料理のレシピの募集。さらにレシピ集を作成中。</p> <p>③生ごみ減量啓発用 DVD 作成</p>		
実施自治体	仙台市		

対象	家庭ごみ	種類	生ごみ
内容	生ごみ3キリ運動		
説明	<p>「使いキリ」「食べキリ」「水キリ」について「生ごみ3キリ運動」を展開。街頭キャンペーンや料理教室の開発、アニメ、イメージソングのインターネット配信を実施。「食べ残しゼロ優秀店舗認定制度」の創設。</p>		
実施自治体	京都市		

(3) リユースに関する情報提供

対象	家庭ごみ	種類	家電製品、家具ほか
内容	リユース・リサイクルエコショップ		
説明	<p>中古品の買取・販売等を行う店を「リユース・リサイクルショップ」に認定。 (中古品の例) 家電製品、家具、オフィス家具・洋服、着物、バッグ、靴、時計、アクセサリ・自転車・楽器、本、DVD、ゲーム・骨董品、食器、スポーツ用品、おもちゃ・介護用品、自動車部品、美容器等</p>		
実施自治体	川崎市		

(4) リユース機会の提供

対象	家庭ごみ	種類	玩具
内容	おもちゃの修理		
説明	おもちゃの診療（修理）を通して、子どもたちの「ものを大切にする心」「科学する心」を育むとともに、大人も一緒に使い捨て文化を見直し、ごみの減量化や資源化に対する意識の啓発。		
実施自治体	相模原市		

対象	家庭ごみ	種類	リユース品
内容	地域フリーマーケット開催助成制度		
説明	名古屋市内の団体が不用品の再利用を目的として自主的に開催するフリーマーケットに対して、開催経費の一部を助成。（1団体あたり1万円以内）		
実施自治体	名古屋市		

対象	家庭ごみ、事業ごみ	種類	飲料容器、衣類
内容	KYOTO エコマネー		
説明	コーヒーチェーンでのマイボトル使用、衣料品販売店への古着の持ち込みにエコマネーを付与。京の旬野菜や地下鉄プリペイドカード等に交換できるKYOTO エコマネー制度を実施。		
実施自治体	京都市		

対象	家庭ごみ	種類	くつ、かばん
内容	くつ・かばん類の拠点回収		
説明	くつ・かばん類の拠点回収。回収したものは国内外でリユース（再利用）。回収物：くつ類（左右ペア）、かばん類、ベルト、ぬいぐるみで再使用できるもの（ただし、長靴、ブーツ、スリッパ、スパイク、スーツケース、キャリーバック、ランドセル等は回収できない）		
実施自治体	小金井市		

対象	家庭ごみ	種類	浴衣
内容	浴衣のリユース		
説明	使わなくなった浴衣を回収し、イベント（平成打ち水 夏の陣）に参加される外国人の方に譲る。		
実施自治体	佐賀市		

(5) 事業者による自主的なごみの減量への取組

対象	事業ごみ	種類	ごみ全般
内容	3R 事業者認定制度		
説明	事業者から排出されるごみを積極的に減量化・資源化に取り組む市内事業者を認定。記念品を贈呈するほか、その活動を HP 等で広く周知。		
実施自治体	新潟市		

対象	事業ごみ	種類	飲料容器
内容	マイボトルキャンペーン		
説明	マイボトルへの飲料等提供店など参加協力店 168 店舗で実施。店舗によっては割引、増量などのサービスあり。		
実施自治体	新潟市		

対象	事業ごみ	種類	ごみ全般
内容	事業者の取組の市民モニタリング		
説明	事業者の取組の実施状況を把握するため、「市民モニター」として対象事業者等の取組状況の調査・報告。優良事例の発掘や報告義務対象外の事業者等の取組状況等の確認を目的。市民モニターからの報告内容を市がとりまとめて公表することにより、地域における 2 R を中心としたごみ減量活動の気運の醸成を目指す。		
実施自治体	京都市		

対象	事業ごみ	種類	ごみ全般
内容	優良事業者への表彰		
説明	他の模範となる取組を行っている事業者に対して功績をたたえ、一層の取組推進を資するために表彰状を贈呈。		
実施自治体	広島市		

対象	事業ごみ	種類	生ごみ
内容	食品廃棄物発生抑制事業の実施		
説明	食品廃棄物の削減に取り組んでいただける店舗を「食べきり協力店」として登録し、実践をお願いする事業を全市で展開。		
実施自治体	横浜市		

対 象	事業ごみ	種 類	生ごみ
内 容	福岡エコ運動協力店の紹介		
説 明	「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の趣旨に賛同し、食べ残しの削減などに取り組まれる事業所を「福岡エコ運動協力店」として登録。5のうち一つ以上に取り組まれている市内の飲食店及び宿泊施設等の事業者を「福岡エコ運動協力店」として登録、紹介。		
実施自治体	福岡市		

対 象	事業ごみ	種 類	制服、作業服
内 容	事業所の制服・作業服の回収・リサイクル		
説 明	古着のリサイクルの取組みを拡大するため、家庭からの古着だけでなく、事業所の制服・作業服も回収対象。		
実施自治体	北九州市		

(6) イベントごみ・観光ごみ対策

対 象	家庭ごみ、事業ごみ	種 類	観光ごみ
内 容	京都エコ修学旅行		
説 明	修学旅行で京都市内に宿泊する学校を対象に、環境にやさしい「京都エコ修学旅行」の参加校を募集。実践する修学旅行生へは、京都市オリジナルのエコバッグを提供。(歯ブラシを持参し、宿泊施設の使い捨て歯ブラシを使わないこと。エコバッグを携帯し、買い物時にレジ袋や紙袋はもらわず、できるだけ簡易に包装された商品を購入すること。出された食事をできるだけ食べきり、食べ残しを出さないこと。)		
実施自治体	京都市		

対 象	事業ごみ	種 類	イベントごみ
内 容	イベントのエコ化		
説 明	イベント主催者：リユース食器の利用促進、ごみを分別して排出できる環境整備、マイバッグ持参等の呼びかけ。 イベント参加者：リユース食器の優先的な利用、イベント会場で分別排出。		
実施自治体	京都市		

対 象	事業ごみ	種 類	イベントごみ
内 容	リユース食器		
説 明	リユース食器利用助成金として、リユース食器を学園祭等のイベントで利用してもらうことで、学生等若年世代に、ごみの問題などの環境に関する情報発信・広報啓発を実施。		
実施自治体	神戸市		